

## Ⅱ 主な事業別の状況

### 1. 上水道事業

#### (1) 施設及び業務概要

決算調査の対象となったのは、27事業（上水道事業26事業、用水供給事業1事業）である。年間総配水量は対前年度比1.1%減の131,899.77千 $\text{m}^3$ であり、現在給水人口は対前年度比1.4%減の1,156,657人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率でみると96.6%、計画給水人口に対する普及率でみると87.5%となっている。また、有収率は全体で85.1%となっており、規模別にみると、給水人口15万人以上の事業（3事業）が88.5%で最も高くなっている。〔第9表〕

第9表 施設及び業務概要

(単位：人、%)

項 目	規 模 別					合 計
	15万人以上	5万人以上 15万人未満	3万人以上 5万人未満	1.5万人以上 3万人未満	1.5万人未満	
行政区域内人口 (A)	742,021	111,880	88,891	109,634	145,211	1,197,637
計 画 給 水 人 口 (B)	756,317	124,129	111,060	117,814	211,961	1,321,281
現 在 給 水 人 口 (C)	724,978	107,907	84,451	99,142	140,179	1,156,657
行政区域内人口に対する普及率(C) / (A)	97.7	96.4	95.0	90.4	96.5	96.6
計画給水人口に対する普及率 (C) / (B)	95.9	86.9	76.0	84.2	66.1	87.5
有 収 率	88.5	83.4	83.0	78.8	76.7	85.1

(注) 用水供給事業を除く。

#### (2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は109.3%と前年度から変わっていない一方で、収益費用別では総収益、総費用ともに0.7%増となっている。

単年度収支で、純損失を生じた事業は2事業であった（前年同）。

累積欠損金は6億4,821万6千円で、前年度から27.0%減となっている。〔第10表〕

第10表 収益的収支の状況

(単位：千円、%)

年 度 項 目		H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	増 減 率 (R4/R3)
		総 収 益	33,306,761	33,046,629	32,634,657	32,693,079	
うち 営 業 収 益 (A)	29,114,228	29,044,735	28,395,266	28,557,319	28,338,885	△ 0.8	
総 費 用	28,842,236	28,946,932	28,987,259	増 減	30,121,349	#VALUE!	
純 利 益	4,467,680	4,113,802	3,668,463	3,658,236	3,134,056	△ 14.3	
純 損 失 (B)	3,155	14,105	21,065	887,492	328,023	△ 63.0	
累 積 欠 損 金 (C)	79,079	93,184	0	887,492	648,216	△ 27.0	
不 良 債 務 額 (D)	0	0	0	0	0	-	
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.0	0.0	0.1	3.1	1.2	
	(C) / (A)	0.3	0.3	0.0	3.1	2.3	
	(D) / (A)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事 業 数 (E)	27	27	27	27	27	0.0	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)	1	1	1	2	2	0.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)	1	1	0	2	1	△ 50.0	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)	0	0	0	0	0	-	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)	3.7	3.7	3.7	7.4	7.4		
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7		
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
総 収 益 対 総 費 用 比 率	115.5	114.2	112.6	#VALUE!	109.3		

(注) うち営業収益 (A) は受託工事収益を除く。

(3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は89億3,797万7千円で、前年度84億2,503万9千円より6.1%増、資本的支出は217億4,956万7千円で、前年度230億3,479万3千円より5.6%減となっている。〔第11表〕

第11表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R4 / R3)	
		R3年度	R4年度		
資本的支出	建設改良費	15,286,750	13,951,233	△ 8.7	
	企業債償還金	7,545,076	7,595,548	0.7	
	その他	202,967	202,786	△ 0.1	
	計	23,034,793	21,749,567	△ 5.6	
財源内訳	内部資金	14,545,654	12,811,590	△ 11.9	
	外部資金	8,425,039	8,937,977	6.1	
	うち	企業債	5,275,300	6,039,000	14.5
		他会計出資金	969,831	488,846	△ 49.6
		他会計負担金	83,735	72,521	△ 13.4
		他会計借入金	0	0	-
		他会計補助金	335,501	411,097	22.5
		調整項目	0	0	-
	財源不足額	64,100	0	皆減	
	計	23,034,793	21,749,567	△ 5.6	

※R3年度の財源不足額については、R3年度同意済企業債の未発行分（64,100千円）をもってR4年度に措置。

(4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は331.8%と前年度（298.9%）より32.9ポイント増となっている。〔第12表〕

第12表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
平成30年度		317.0	0	0.0
令和元年度		315.9	0	0.0
令和2年度		311.2	0	0.0
令和3年度		298.9	50,000	0.2
令和4年度		331.8	30,000	0.1

## 2. 交通事業

### (1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。一般乗合分の在籍車両は255両で、前年度から増減はない。輸送人員は年間11,063千人となっており、一日当たりで見ると30,310人で、前年度に比べ101人増となっている。〔第13表〕

第13表 経営規模

区 分		年 度	H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度
施 設	営 業 路 線 ( km )		397.7	396.1	393.0	395.2	395.6
	運 転 系 統 路 線 ( 本 )		271	254	252	252	253
	在 籍 車 両 ( 両 )		259	259	259	255	255
	平 均 車 齢 ( 年 )		11.1	10.4	9.4	9.3	9.7
業 務	年 間 走 行 キ ロ ( 千 km )		7,140	7,084	6,936	6,912	6,708
	一 日 走 行 キ ロ ( 千 km )		20	19	19	19	18
	年 間 輸 送 人 員 ( 千 人 )		14,213	13,598	11,099	11,026	11,063
	一 日 輸 送 人 員 ( 人 )		38,940	37,153	30,409	30,209	30,310
	年 間 運 送 収 益 ( 千 円 )		2,867,163	2,764,539	2,433,930	2,489,302	2,499,883
	一 日 運 送 収 益 ( 千 円 )		7,855	7,553	6,668	6,820	6,849

(注) 一般乗合分のみを記載した。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、94.0%で前年度（86.8%）に比べ7.2ポイント高くなっている。

不良債務額を有する事業数については、前年度から増減はなく、不良債務額は前年度よりも減少した。〔第14表〕

第14表 収益的収支の状況

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (R4/R3)
		H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	
項 目							
	総 収 益		3,801,317	3,724,856	3,482,425	3,514,894	3,857,632
うち 営 業 収 益 (A)		2,915,455	2,817,918	2,488,575	2,541,896	2,554,412	0.5
総 費 用		3,874,100	3,976,801	3,967,780	4,051,370	4,104,630	1.3
純 利 益		0	0	0	0	0	-
純 損 失 (B)		72,783	251,945	485,355	536,476	246,998	△ 54.0
累 積 欠 損 金 (C)		2,098,428	2,233,123	2,682,400	3,218,876	3,465,874	7.7
不 良 債 務 額 (D)		49,200	174,658	152,755	143,142	128,742	△ 10.1
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	2.5	8.9	19.5	21.1	9.7	
	(C) / (A)	72.0	79.2	107.8	126.6	135.7	
	(D) / (A)	1.7	6.2	6.1	5.6	5.0	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		2	2	2	2	2	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		1	1	2	2	2	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)		1	1	1	1	1	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		98.1	93.7	87.8	86.8	94.0	

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は4億9,059万6千円で前年度15億1,833万5千円より10億2,773万9千円（67.7%）減少し、資本的支出については5億7,930万2千円と前年度15億7,773万3千円より9億9,843万1千円（63.3%）減となっている。〔第15表〕

第15表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R4/R3)	
		R 3 年 度	R 4 年 度		
資本的支出	建設改良費	1,207,610	192,852	△ 84.0	
	企業債償還金	369,437	339,552	△ 8.1	
	その他	686	46,898	6,736.4	
	計	1,577,733	579,302	△ 63.3	
財源内訳	内部資金	59,398	88,706	49.3	
	外部資金	1,518,335	490,596	△ 67.7	
	うち	建設改良のための企業債	283,400	185,300	△ 34.6
		他会計補助金	246,944	225,225	△ 8.8
		他会計借入金	0	0	-
	財源不足額	0	0	-	
	計	1,577,733	579,302	△ 63.3	

### (4) 資金繰りの状況

平成27年度から一時借入金はない。

また、流動比率（流動資産／流動負債）は75.4%で、前年度71.2%より4.2ポイント高くなっている。〔第16表〕

第16表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
平成30年度		109.8	0	0.0
令和元年度		85.6	0	0.0
令和2年度		76.1	0	0.0
令和3年度		71.2	0	0.0
令和4年度		75.4	0	0.0

### 3. 病院事業

#### (1) 施設及び業務概要

令和4年度の病院数は22病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が6病院、町が経営する病院が8病院、一部事務組合等が経営する病院が8病院となっている。〔第17表〕

22病院全体での病床数は4,074床(一般病床3,540床、療養病床318床、結核病床0床、精神病床198床、感染症病床18床)であり、病床利用率は64.6%で前年度から減少している。

病床利用率を規模別に比較すると、500床以上の病院では80%以上となっているが、それ以外では70%未満となっている。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数96万1千人、外来延べ患者数180万7千人、合計で276万8千人となっている。〔第18・19表〕

第17表 施設及び概要

区分 病院規模	自治体病院数	経営主体		
		市	町	一部事務組合等
500床以上	1	1	0	0
300床以上500床未満	4	2	0	2
200床以上300床未満	2	2	0	0
100床以上200床未満	4	0	1	3
100床未満	11	1	7	3
計	22	6	8	8

第18表 患者数・病院数の推移

年度 項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
入院延患者数(千人)	1,188	1,154	1,042	1,030	961
外来延患者数(千人)	2,030	1,994	1,825	1,856	1,807
病床数(床)	4,410	4,380	4,344	4,324	4,074
病床利用率(%)	71.7	71.5	65.5	65.5	64.6
外来・入院比率(%)	171.0	172.8	175.1	180.2	188.0

第19表 病床の利用率

(単位: %)

年度 規模	500床以上	300床以上 500床未満	200床以上 300床未満	100床以上 200床未満	100床未満	計
平成30年度	86.8	72.6	62.3	71.4	65.4	71.7
令和元年度	85.7	72.8	59.0	68.3	73.0	71.5
令和2年度	77.1	64.9	54.0	66.5	68.0	65.5
令和3年度	79.7	65.2	47.2	66.2	71.4	65.5
令和4年度	82.1	60.9	63.8	56.9	64.8	64.6

(2) 収益的収支の状況

単年度収支では22施設中12施設で27億4,946万9千円の純利益を生じたが、10施設が合わせて6億2,118万8千円の純損失を生じ、累積欠損金は308億1,834万8千円で、前年度449億7,494万4千円から141億5,659万6千円(△31.5%)の減となっている。

不良債務額は8億7,467万7千円で、前年度12億4,705万6千円から3億7,237万9千円(△29.9%)の減となっている。  
[第20表]

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度 項 目		H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	増 減 率 (R4/R3)
		総 収 益	94,735,038	95,346,576	100,144,561	101,799,312	101,094,021
う ち 医 業 収 益 (A)	79,822,096	79,570,579	76,403,876	78,937,834	77,944,119	△ 1.3	
総 費 用	94,391,614	95,594,609	97,911,323	97,923,890	98,965,740	1.1	
純 利 益	2,401,101	1,700,850	2,745,233	4,180,130	2,749,469	△ 34.2	
純 損 失 (B)	2,057,677	1,948,883	511,995	304,708	621,188	103.9	
累 積 欠 損 金 (C)	51,994,147	52,306,763	50,860,100	44,974,944	30,818,348	△ 31.5	
不 良 債 務 額 (D)	3,837,953	4,174,525	2,471,399	1,247,056	874,677	△ 29.9	
赤字額 等の医 業収益 に対する 割合	(B) / (A)	2.6	2.4	0.7	0.4	0.8	
	(C) / (A)	65.1	65.7	66.6	57.0	39.5	
	(D) / (A)	4.8	5.2	3.2	1.6	1.1	
施 設 数 (E)	23	23	23	23	22	△ 4.3	
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)	17	13	11	7	10	42.9	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 (G)	17	16	16	16	16	0.0	
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 (H)	11	10	9	6	4	△ 33.3	
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 の 割 合 (F) / (E)	73.9	56.5	47.8	30.4	45.5		
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 の 割 合 (G) / (E)	69.6	69.6	69.6	69.6	72.7		
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 の 割 合 (H) / (E)	39.1	43.5	39.1	26.1	18.2		
総 収 益 対 総 費 用 比 率	99.0	99.7	102.3	104.0	102.2		

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は98億317万5千円（前年度101億3,138万8千円）で、対前年度比3.2%の減、資本的支出は138億6,442万2千円（前年度143億3,231万5千円）で、対前年度比3.3%の減となっている。財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より3.3%の減、外部資金は企業債が19.7%の増、他会計出資金等の一般会計繰入金は7.3%の減となっている。〔第21表〕

第21表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R4 / R3)	
		R 3 年 度	R 4 年 度		
資本的支出	建設改良費	6,763,408	6,517,592	△ 3.6	
	企業債償還金	7,459,392	7,247,792	△ 2.8	
	その他	109,515	99,038	△ 9.6	
	計	14,332,315	13,864,422	△ 3.3	
財源内訳	内部資金	4,200,926	4,061,267	△ 3.3	
	外部資金	10,131,388	9,803,175	△ 3.2	
	うち	企業債	3,958,700	4,739,400	19.7
		他会計出資金	1,747,474	1,036,812	△ 40.7
		他会計負担金	2,944,392	3,305,382	12.3
		他会計借入金	0	0	-
	ち	他会計補助金	18,200	25,610	40.7
		調整項目	0	0	-
		財源不足額	0	0	-
	計	14,332,315	13,864,422	△ 3.3	

### (4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は161.0%と前年度（156.1%）より4.9ポイント高くなっている。〔第22表〕

第22表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	医業収益に対する割合
平成30年度		123.6	10,109,164	12.7
令和元年度		123.7	9,908,416	12.5
令和2年度		135.2	9,654,000	12.6
令和3年度		156.1	6,360,000	8.1
令和4年度		161.0	5,813,712	7.5